

令和4年度「学校経営方針」

令和4年4月1日

日本国文部科学省 在外教育施設

在アラブ首長国連邦 日本国大使館附属

アブダビ日本人学校 校長 宮崎 幸夫

1. はじめに

日本国文部科学省が認定した在外教育施設日本人学校は世界に94校あります。アブダビ日本人学校もその中の1校で文部科学省より派遣された10名の教員が文部科学省の定める学習指導要領に則り日本人児童生徒の日々の教育に携わっています。

本校は在アラブ首長国連邦日本国大使館附属日本人学校であり、日本の公立学校と同等の教育を海外で暮らす日本人児童生徒のために行う学校です。また、日本政府の在外教育施設教員派遣制度に即しアブダビ日本人学校設立母体アブダビ日本人会並びに学校運営理事会、保護者と協力し教育課程の推進に寄与することが求められています。

本校は89在外教育施設日本人学校中唯一外国籍（UAE国籍）を正式に受け入れている日本人学校です。14年前、アブダビ首長国ムハンマド・ビン・ザーイド・ビン・スルターン・アール・ナヒヤーン皇太子からの働きかけを日本政府が受け入れこのプロジェクトが始まりました。現在、本校を卒業したUAEの生徒5名が日本の高校へ進学しています。日本人学校としては特異な学校ですが文部科学省派遣教員は邦人教育に全力を傾けながら日本とUAEの懸け橋となるUAE児童生徒の教育にも経済産業省NPO派遣職員8名と力を合わせ学校運営を行っています。

本年度、学級数全9学級、児童生徒数74名（4月1日現在、日本国籍46名、外国籍28名）でスタートしています。文部科学省派遣職員10名（校長・教頭を含む）担任及び教科指導を担当し現地採用教員1名（アラビア語・対外折衝）、対外折衝員1名、現地採用英会話教員1名、現地採用事務員1名、現地採用看護師1名、用務員1名、警備員3名、covid19対応清掃員4名、バス運転手2名、バス添乗員2名が教育活動に携わっています。また、UAE児童生徒への学習補助や補習担当として経済産業省NPO派遣職員8名、現地採用ファミリーサポートスタッフ1名、アブダビ教育評議会（ADEC）派遣教員5名も協力して教育活動を行っています。

2. 学校教育目標

日本人としてのアイデンティティーを大切に『確かな学力』や『生きる力』、『国際感覚』や『人権感覚』、『グローバルな人材となりうる資質や能力』を身につけ、主体的に学び、何事にも最善を尽くし自ら伸びようとする子供を育成する。

3. 目指す学校像

『行きたい学校、行かせたい学校～行ってよかった、行かせてよかった』

「行きたい学校、行かせたい学校」とは児童・生徒は「通いたい」、保護者の皆さんは「通わせたい」、アブダビ首長国在住の日本人の皆さんはもとよりアブダビ首長国の方々も「関わりたい」、教職員の立場では「勤めたい」「我が子も通わせたい」と言えるような学校

4. 学校基本方針

～児童生徒指導～

- ・安心安全（危機管理）
- ・高いモラル人権意識

～学習指導～

- ・学力の向上
- ・能力の伸長

5. 共育・連携

- ・大使館
- ・日本人会
- ・学校運営理事会
- ・保護者
- ・地域社会
- ・学校職員

<具体的な取り組み>

- ・保護者との相談会、懇談会の実施
- ・学校たより、学年たよりの定期的な発行
- ・保護者アンケートの実施
- ・日常的な授業公開の実施
- ・PTA 活動と連携した取り組みの充実
- ・読み聞かせの充実
- ・特別支援教育の推進
- ・イメージ教育の試行
- ・大使館との連携による避難訓練の実施
- ・緊急時の対外連絡網の整備
- ・外国籍児童生徒の受け入れ
- ・経済産業省 NPO 派遣職員との連携

6. 未来に向かって持続可能な学校組織の確立

<具体的な取り組み>

- ・道徳教育の充実
- ・読書習慣の推進
- ・徹底反復学習の実施
- ・漢字先取り学習の実施
- ・放課後補習「達成タイム」の実施
- ・UAE 児童生徒の指導と支援の実施

7. 教師力の育成（協働・研鑽） <OJT を通した職員研修の充実>OJT ノートの活用

- ・豊かな人間性の育成
- ・確かな指導力の育成
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・互いに尊重しあう職場の成就

